

市長報告

令和7年第3回古河市議会定例会の開催にあたり、古河市の主要な施策及び事業の執行状況等について、ご報告いたします。

(はじめに)

今月9月12日に、古河市、総和町、三和町の1市2町が合併し、新しい「古河市」が誕生してから20年という節目を迎えます。来月10月4日には、野本電設工業コスモスプラザにて、国会議員や県知事、市政功労者等の皆さまをお招きし、「古河市合併20周年記念式典」を開催します。式典では、本市のこれまでの歩みを振り返るとともに、未来へ大きく夢広がる古河市を目指す決意を市内外に発信してまいります。

また、今年度は、合併20周年を記念したイベントを開催しております。5月に行われた将棋名人戦に続き、先月は「第20回古河花火大会」や「夏巡業大相撲古河場所」が開催されました。これらのイベントでは、市民や来訪者の皆さまに大いに楽しんでいただくことができました。今後も記念イベントの開催を予定しておりますので、ぜひご期待ください。

それでは、第2次古河市総合計画の施策体系に沿って、主要な施策等の実施状況及び進捗状況について、ご報告させていただきます。

1 市民協働について

SDGs の推進に向け、今年度から開始した「古河市 SDGs 未来都市推進事業支援補助金」の募集を行い、審査の結果、7 件を対象事業として決定しました。今後、SDGs パートナーによる各事業の展開を通じて、地域でのさらなる SDGs 推進が期待されます。また、本市が SDGs 未来都市に選定されたことを広く PR するため、オリジナルピンバッジの一般販売に向けた準備を進めています。

SDGs やカーボンニュートラルの取組を推進するため、「持続可能な社会づくり推進基金」を設置します。本基金では、独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する債券で資金を運用し、その運用益を本市の取組に活用するとともに、JICA の活動を通じて世界規模での SDGs 達成にも貢献していきます。

多文化共生の取組の一環として、宇賀神電機株式会社古河工場でモンゴル人学生 2 名のインターンシップを受け入れていただきました。地域全体で学生を迎えるにあたり、古河市国際交流協会の協力を得て、浴衣の着付けや生け花等の日本文化を体験していただき、また古河花火大会を観覧いただきました。

「市民共創まちづくり出城ノモリ Project」では、ワークショップやイベント等の活動を展開しています。7 月と 8 月に開催されたワークショップには、計 48 人が参加し、各自の「やってみたいこと」を話し合いながら、アイデアの実現に向けたグループワークを実施しました。古河歴史博物館周辺の景観形成重点地区を、より多くの人々が歩いて楽しみ、訪れたいと思える場所にするための取組を進めていきます。

8月下旬にかけて、ダイバーシティやワーク・ライフ・バランスへの関心や意欲を高めることを目的に、大学生及び高校生を対象とした事業所訪問を実施しました。学生たちは、先進的な取組を行うトモエ乳業株式会社、三桜工業株式会社及び古河市役所の3事業所を訪問しました。今後、参加した学生がレポートの作成や発表を通じて、新しい働き方に対する理解を深めるとともに、自身の進路選択を考える良いきっかけとなることを期待しています。

2 健康福祉について

古河市子ども計画の重点施策である「こどもの意見表明」の取組を推進しています。インターネットを利用した意見表明に加え、市が子どもたちの集まる場所に出向き、意見交換を行う取組も実施します。

障がい者の社会参加を促進し、相互交流の場を提供することを目的として、障がい者スポーツ体験教室を開催しています。今年度は5回の開催を予定しており、これまでに7月と8月の計2回を実施しました。延べ51人の参加者が、ボッチャや卓球バレー、モルックといった競技を体験しました。

介護認定審査会をペーパーレス化することで、認定業務の効率化を図り、利用者が必要とする介護サービスを円滑に利用できる体制を整備します。現在、10月からの試行開始に向けて準備を進めています。

低所得者支援給付金については、令和6年度住民税非課税世帯への給付金及び子ども加算金の支給を8月までに完了しました。現在は、定額減税差額調整給付金の不足額の支給を進めています。

3 教育文化について

(仮称)古河市新公会堂の整備について、7月に市民委員会から基本構想・基本計画案の答申を受けました。また、市では8月にパブリックコメントを実施し、市民の皆さまから貴重なご意見をいただきました。整備手法として民間資金の活用も検討しながら、令和14年度の開館を目指して事業を推進します。

時代の変化に対応した持続可能な教育環境を維持するため、小中学校の適正な規模及び配置に関する基本方針を、年内に策定します。また、市民の皆さまに学校教育の現状と課題について周知するためのリーフレットを作成します。地域の状況や学校の実情を十分に考慮し、児童生徒にとって最善となる学校再編を進めていきます。

英語コミュニケーション力の向上と、多文化理解を深めることを目的として、7月23日から25日までの3日間、「古河イングリッシュアドベンチャー」を開催しました。小学校3年生から6年生までの約150人が参加し、英語を使用して各国の遊びを楽しむブースを巡りながら、ALT(外国語指導助手)と交流し、英語の楽しさを体感しました。

8月5日に人権教育講演会を開催し、157人が参加しました。家庭教師システム学院代表の長谷川満氏を講師に迎え、自身の体験を基にした子どもの人権に関する講演を行っていただき、人権尊重の意識向上を図ることができました。

8月7日にイーエスはなもも体育館で「夏巡業大相撲古河場所」を、16日には野本電設工業コスモスプラザで栗山英樹氏を講師に迎えたスポーツ講演会を開催しました。第一線で活躍するアスリートや指導者との交

流を通じて、スポーツの魅力を市民の皆さまに楽しんでいただく貴重な機会となりました。

古河歴史博物館では、県内初の駅として古河駅が開業してから140年を迎えることを記念し、企画展「古河駅140年」を開催しています。昔懐かしい行先案内板や幻の鉄道構想等、古河駅の貴重な歴史を展示しています。また、藤井聡太名人が3連覇を達成した将棋名人戦第5局を記念し、対局で使用された将棋盤や駒、封じ手、サイン入り色紙等を特別展示しています。市民の皆さまはもちろん、多くの鉄道ファンや将棋ファンにもご来場いただき、本市の観光振興や知名度の向上につながることを期待しています。

今月から電子図書館が開館しました。この電子図書館は、地理的・時間的な制約なく利用でき、文字の拡大や音声サービス等の機能を備えることで、障がい者や高齢者にも配慮したサービスとなっています。また、10月からは図書館システムの更新に伴い、オンラインでの利用登録や、スマートフォンで利用カードを表示できるなど、新たなサービスが開始されます。図書館DXの推進により、図書館利用者の増加を図るとともに、市民の読書環境をさらに充実させていきます。

来年3月の開館を目指して整備を進めている総和地域交流センターについて、愛称の募集を実施したところ、585件の応募をいただきました。選考結果の発表は10月を予定しています。愛称を通じて市民の皆さまに親しみを感じていただき、末永く愛される施設となることを願っております。

4 産業労働について

6月28日から7月13日まで、「名人戦古河対局 古河の勝負めしスタンプラリー」を実施しました。「古河花火大会ペアチケット」と「名人戦記念扇子」のセットを景品として提供し、市外を含む141件の応募をいただきました。このイベントを通じ、市民や来訪者の皆さまに本市の魅力的な店舗や名物をPRするとともに、地域経済への波及効果につながったものと考えております。

7月5日から7日まで、道の駅「まくらがの里こが」にて開業記念祭を開催しました。「こが卵のバスクチーズケーキ」をはじめとする地元産品を活用した新商品の販売を行ったほか、各種イベントを実施し、会場は多くの来場者でにぎわいました。

8月2日に第20回古河花火大会を開催しました。特別三尺玉2発をはじめとする充実したプログラムが揃い、多くの市民の皆さまにとって思い出深い大会となったことと思います。また、翌日に行われた河川敷清掃には、多くの皆さまにご参加いただきました。市民とともに作り上げる花火大会は、古河の誇りであると改めて感じています。

持続的な地域経済の発展を図るため、駅周辺の商店街において、現地ヒアリング等による空き店舗調査を実施しております。約270店舗を対象に、空き店舗の実情をより詳細に把握するとともに、創業や事業承継を支援する「古河サークル」で情報共有を行い、駅周辺のにぎわい創出に取り組みます。

「古河サークル」の活動では、今月13日に市内で活躍する創業者3名を講師に招き、創業をテーマとした講演会を開催します。関心のある方が

創業や事業承継に取り組みやすい環境が整い、地域に根付くよう、引き続き取り組みます。

5 生活環境について

物価高騰が続く中で経済的な負担が増加している市民や事業者を支援するため、給水件数約 65,000 件を対象に、7 月検針分から 9 月検針分までの 3 か月間、水道基本料金を免除しています。

近年、猛暑が続き、最高気温の記録を毎年更新しています。8 月 5 日には、本市で過去最高となる 40.6 度を観測しました。熱中症等の健康被害を防ぐため、公共施設 16 か所及び民間店舗等 41 か所を「クーリングシェルター」として指定し、6 月から 9 月までの期間中、危険な暑さから一時的に避難できる場所として提供しています。

カーボンニュートラルの推進については、引き続き小学生を対象とした「押しかけ講座」を通じて啓発活動を実施し、カーボンニュートラルを身近な課題として捉え、積極的に取り組める人材の育成を図っています。また、配電盤茨城団地と協同で行っているモデル事業では、6 月 23 日に団地内企業を対象とした勉強会を開催し、省エネの取組の必要性を再確認しました。今後も地域のグリーン化に向けた取組を推進します。

地域防災勉強会については、これまで対象者を自治会及び行政区としていましたが、一般市民にも対象を拡大しました。災害時に役立つスマートフォンを活用術等、幅広い年代が受講可能な内容をテーマとして、7 月 12 日から 8 月 24 日にかけて計 5 回開催し、216 人が参加しました。本勉強会を通じて、市民の防災意識向上を図ることができました。

古河地区における可燃ごみの処理については、さしま環境管理事務組合への加入を前提に準備を進めています。可燃ごみを同組合の処理施設まで効率的に運搬するため、可燃ごみ中継施設を整備します。

6 都市基盤について

循環バス「ぐるりん号」の利用に際し、「Google マップ」の乗換案内サービスでの検索ができるようになりました。利用者が出発地及び目的地等を入力すると、最寄りのバス停、運賃及び時刻等の情報を簡単に検索することができます。市民や利用者の利便性向上を目指し、デジタル技術を活用した地域の DX の推進に取り組みます。

古河駅東部土地区画整理事業については、都市計画道路西牛谷辺見線の今年度末の全線開通に向けて、工事を進めています。また、国が整備を進めていた古河労働総合庁舎が 6 月に完成しました。ハローワーク古河は 11 月 25 日、古河労働基準監督署は 12 月 1 日の業務開始を予定しており、現在、準備が進められているところです。

空き家対策については、一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会と連携し、空き家所有者等を対象とした「空き家個別相談会」を開催しています。6 月と 7 月に行われた相談会では、計 26 組の参加があり、相続物件の売却や処分、空き家の利活用等について専門家から相談を受けることができました。空き家に関する悩みを抱える方々にとって有意義な機会となることから、引き続き開催していきます。

7 行財政について

7月20日に執行された参議院議員通常選挙では、投票率向上を目的として、市内3か所の商業施設にバスを利用した移動式の期日前投票所を設置しました。選挙期間中の7月11日から13日の3日間に、701の方に投票していただきました。また、今月7日に執行する茨城県知事選挙でも、商業施設や高等学校、中等教育学校の計9か所で、移動式の期日前投票所を設置しています。

新たに開始した「市長がたずねるまちづくり」では、7月に文化団体と企業の2団体を訪問しました。日頃の取組を視察させていただくとともに、座談会では参加者の率直な意見を伺う貴重な機会となりました。市の発展につながるヒントを得るため、今後も様々な団体を訪問させていただきたいと考えています。

合併20周年を記念した広報古河9月号の特別企画として、市民の皆さまから笑顔の写真を募集し、130点を超える応募がありました。皆さまの笑顔とともに、未来を感じられる特集ページに仕上がっていますので、ぜひご覧ください。

(むすびに)

この夏は連日の厳しい暑さにより、市民の皆さまや日々の仕事に従事される方々の体調を案じる日々が続きました。これからは徐々に暑さが和らぎ、過ごしやすい季節となります。秋のお祭りやイベント等も開催される時期となりますので、体調管理には十分ご留意いただきながら、ぜひご参加いただければ幸いです。

また、市では令和 8 年度の事業に向けた実施計画の策定や当初予算の編成を進める時期となります。これまでの合併後の取組を総括し、事業の見直しを進めるとともに、時代の変化に対応した施策に積極的に取り組んでまいります。

つきましては、市政運営に対し、議員各位をはじめ市民の皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、市長報告とさせていただきます。

令和 7 年 9 月 3 日

古河市長 針 谷 力